

明石市

# 国際協力海外レポート

片山 真以子(カタヤマ マイコ) (JICA 海外協力隊)

赴任地:ジブチ共和国ジブチ市

職種:コミュニティ開発

赴任期間:2019年12月~2020年3月 2023年1月~2024年3月



2023年1月に再赴任をし、1年が経過しました。今回は活動について紹介したいと思います。

## ・配属先での活動について

2023年10月に配属になった青年・文化省 コミュニティ開発センター局での活動について紹介したいと思います。

配属先は、国内25か所(ジブチ市内13か所)に設置されているコミュニティ開発センターの運営管理を統括しています。各センターは主に地域の青少年に対し、スポーツ・文化活動の場所や機会を提供しており、各センターに配置されているセンター長およびファシリテーターによって運営が委ねられています。

私は、市内11か所(内2ヶ所は修繕中)を訪問し、訪問結果を元に同僚と協議のうえ、巡回するセンターの順を決定し、アクティビティを企画し実施することとなりました。

## 各センターでのアクティビティの様子



小物入れの作成



読み聞かせ



アンクレットの作成

## リコーダー教室の開催

ジブチ人は歌を聞いたり歌うのが大好きですが、学校で音楽の授業がないため多くの人が楽器に触れたことがありません。そこで、JICAのプロジェクト「世界の笑顔のために」にて、日本の方より寄付頂いたリコーダーや楽譜を使用してリコーダー教室を開催しました。

初めてリコーダーに触れて2週間程度で「ジブチ国歌」を吹ける様になり、教室を一緒に運営しているディレクター(楽器演奏経験あり)と2人で「奇跡」と驚いていました。



練習の様子



ディレクター等との協議

## ・配属先以外での活動について ・お土産プロジェクト

「お土産プロジェクト」は、ジブチ人や難民などジブチで生活する人々の収入向上に貢献することを目的に2013年より準備が開始され、歴代の隊員有志により継続されてきました。2020年コロナウイルス感染拡大に伴い隊員が退避したのを境に活動休止されました。活動休止以降、参加者や買い手(自衛隊等)からの再開希望の声があり、2022年10月に隊員有志により活動を再開しました。

主な活動は、販売会実施に向けた各機関との調整、参加者への商品品質研修や付加価値のつけ方など商品開発におけるアドバイス、販売会当時の運営をしていました。



販売会



販売会に向けた準備

## ・他隊員の配属先でのアクティビティ

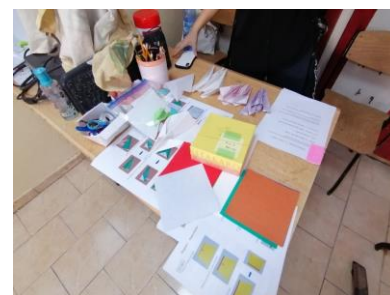
ストリートチルドレンの保護等を行っている団体にて、他隊員の協力を得て、月に1回程度10歳から15歳の子どもに向けた折り紙のアクティビティを実施しました。



来訪する子どもたち



折り方の説明



アクティビティの準備

## ・明石文化国際創生財団 機関紙「創生」への寄稿

ジブチについて、より多くの人に知ってもらえるよう、明石文化国際創生財団の協力を得て、食事や観光スポットなどを紹介しました。



## さいごに

2019年12月に赴任後、2020年3月に一斉退避となり、2023年1月に再赴任と5年近くジブチと係わりを持ってきました。

任国での生活は、マイノリティーとして暮らすことの苦しさなど、日本では感じられない様々なことを感じ、考えさせられましたが、いろんな状況下に置かれた人との触れ合い等、日本では経験できない多くの経験を積むことができました。

任国での経験や学んだことを帰国後活かせるよう努めて行きたいと思えます。